

歌誌 黄雞「夏号」投稿歌

(新仮名)

山形短歌会 黒沼 貞志

歌題 阿久悠のニュース短歌へのオマージュ

当今のメディアを賑わす「新公共」見かけ倒しの言葉が躍る

民と官めざす協働急かされて埋まらぬ乖離心の澱に

「自然には敵わないよ」と毛沢東 主義が違えど旨意は時を越え

汚染記事語れず黙す牛憐れ語れて語らぬメディアと行政

被災地を踊らす風評負の連鎖予定調和の追い打ち続く

わが友に再び強いる車椅子影響深き震災のかけ

水道管付け替え工事始まりぬ想い至れり被災地の朝

隣国の事故処理ニュース他人事ひとごとに天に向って吐く唾のごと

核と云う管理不能のエネルギー手を染めたるは人の世の罪

限りある地球の資源知りてなお飽くなき成長求む愚思えり

為政者が懲りずに語る「成長」は生業ゆえの降ろせぬ御旗

「新しい判断」あれば公約は無きものとして通る今の世

不祥事がメディアを賑わす今だから想いを馳せん「名こそ惜しけれ」

非正規が四割超えてはや三年「総活躍」は疾うにレームダック

食や旅心の洗濯遠のけりインスタグラムに弄ばれて